

お客様ならびに販売店（取付店）様へ
**安全にお使いいただくために
必ず最初にお読みください。**

※商品を受け取りになられたら、まずは商品の構成内容をご確認していただき、過不足がないかチェックしていただくようお願いいたします。

商品によっては小部品などが梱包材の下や段ボール、梱包材に直接貼り付けられている場合がございますのでご確認ください。

※安全上の注意事項※

パッケージ、取扱説明書に記載してある指示及び警告、注意に反したご使用により損害が発生した場合、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・製品包装のビニール袋等は、子供や幼児がかぶったり吸い込んだりしないよう、手の届かないところに片付けるか、廃棄処分してください。
- ・マフラー、エンジン、ブレーキ等はエンジン始動中及び停止後しばらくは高温になっています。触れると火傷等の怪我や衣服等の可燃物が燃える可能性がありますので、その部分がきちんと冷えるまで人や動物が触れることがないようにしてください。また、近くにガソリンなどの危険物や燃えやすい物を置かないでください。作業を行う際は、エンジンなどがきちんと冷えてから行ってください。
- ・本商品に使用されている全てのボルト／ナット類（商品に組み込み済みボルト／ナット類を含む）は取り付けるときに、必ず締め付け確認を行ってください。締め付けは記載された規定のトルクにて確実にいき、記載の無いものについては車両のサービスマニュアルもしくはボルト／ナット類のサイズ／種類にあった規定のトルクにて締め付けてください。締め付けが不確実な場合や組み付け不良等は走行中などに部品が脱落し、事故等に繋がります。
- ・取り付け後は100Km程度の試運転後、各ボルト／ナットを規定トルクで増し締めを行ってください。その後も500Km程度ごとに同様の増し締めを行ってください。走行中には、必ず各部の点検及び増し締めを行い、定期点検は必ず行ってください。
- ・エンジンを始動するときには、換気の良い場所で行ってください。
- ・エンジン始動時は排気口に手を出したりしないでください。火傷や排気ガス中に含まれるグラスウール等が目や手などに刺さる恐れがあります。
- ・走行中に異常が発生した場合は、直ちに走行を中止し、安全な場所に停止して、異常箇所の点検を行ってください。
- ・作業は必ず、水平で安全な状態が確保できる場所で車両を安定させてから行ってください。
- ・ドライブチェーン、スプロケットなどの回転部分やブレーキ、クラッチレバー／ペダル等の可動部分に手や衣服等を巻き込まれないように注意しながら作業を行ってください。
- ・ガスケット、Oリング、割ピン等は取り外し毎に必ず新品に交換してください。
- ・一般公道（舗装路）において法定速度内でのご使用を想定しております。法定速度を守り安全運転を心がけてください。

注意 誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物的障害の発生が想定される内容を示しています。

- ・本商品はオートバイに関する整備の一般的な知識及び技能を有する方（国家資格を持つ整備士）が取り付けを前提としております。それ以外の方が取り付けを行うと本書の通りに取り付け整備をしても知識不足、技能不足で正しく取り付け整備ができないため、トラブル、破損等の原因となることがあります。国家資格を持つ整備士または指定、認証工場へ取り付けを依頼してください。
- ・本商品はパッケージまたはWEBページに記載された適合車種以外への使用はしないでください。また本商品が汎用品の場合は、弊社で確認済み車両以外に取り付けたことにより起こった不具合に関しては保証の対象外となります。（最新の適合車種／確認済み車両は弊社WEBページでご確認ください）
- ・本商品はノーマル車両を前提に設計されています。車両に事故歴や転倒歴がある場合や別途アクセサリ部品が取り付けられている場合には適合車種でも取り付けできない場合があります。また弊社で確認済み以外の他商品との組み合わせで取り付けした場合、車両および部品を破損させる可能性があります。
- ・塗装仕上げやアルマイト処理が施された商品は、製造上、商品の裏側や取付けステー周辺の表面仕上げにムラが発生する可能性があり、その場合タッチアップペイントを施していることもありますが、その仕上がりに関するクレームはお受けできません。また、地域の環境やメンテナンス次第によっては、サビや色落ち等の素材の経年変化が発生する可能性があり、耐久性や品質等が純正パーツとは異なるものがありますのであらかじめご了承ください。また、お手入れ等を行う際には、ガソリンやシンナー等の溶剤は使用しないでください。塗装や表面処理にダメージを与える原因になります。
- ・本商品やパッケージの角部等には、エッジや突起部があります。その際にはケガ防止のために、整備に適した作業着、帽子、安全靴を装着し、必要に応じて 防塵眼鏡、防塵マスク、手袋等の保護用具を着用して作業を行ってください。また、必要に応じて、ヤスリ等を使用してエッジ部や突起部の処理を行ってください。
- ・製品個体差による溶接や塗装、小傷歪み等、程度の差につきましてはあらかじめご了承ください。
- ・本商品の各部品に曲げ、切削、溶接等の追加工を行った場合は保証の対象外になり、重大な事故が起こる場合がありますので絶対に追加工等を行わないでください。
- ・本商品を取り付けることで、車両側の取り付け面にキズや塗装の剥がれが起こる場合があります。また、部品の脱着するときには、塗装面への傷付きに注意して作業してください。
- ・本商品を取り付けることで、車両メーカーからの車両本体の保証修理の対象外になる場合があります。
- ・本書は取扱説明書及び本商品の取り付けに際して取り外した部品と一緒に保管してください。本商品または本商品を取り付けた車両を譲られる際には本書及び取扱説明書や警告、注意の記載があるパッケージも併せて譲渡先へお渡しいただき。
- ・お客様以外が取り付けを行う場合、取り付けされる方（販売店を含む）は取り付け完了後に各部の緩み、不具合等点検後、危険箇所（バリ、突起部）無きことを確認の上、必要事項を説明し本説明書も必ず一緒にお客様へお渡しいただき。
- ・車両から取り外した純正部品を再利用する場合には、摩耗や破損を確認し、必要であれば新品と交換してください。



ツインカメラドライブレコーダー取り付けKIT 取扱説明書

適合車種：CT125・ハンターカブ（JA55）

このたびは本商品をお買い上げいただき、有難うございます。
正しく取り扱いいただき、末永くご愛用いただけますようお願い申し上げます。
また本書は大切に保管してください。

安全上の注意事項

作業に始める前に本書を必ず熟読いただき、記載事項を厳守して作業を行ってください。



※パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を無視してご使用し、重大な事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

- ・本商品はパッケージまたはWEBページに記載された適合車種以外への使用はしないでください。
（最新の適合車種は弊社WEBページでご確認ください）
また、本商品はすべての車両への取り付けを保証しておりません。お客様の使用状況によっては取り付けできない場合がありますのでご了承ください。
- ・本商品はノーマル車両を前提に設計されています。車両に事故や転倒歴がある場合や別途アクセサリ部品が取り付けられている場合には適合車種でも取り付けできない場合があります。また、ハンドル交換やバイザーなどを取り付けている場合には撮影した映像に車体やバイザーなどが映りこんでしまう場合がありますのでご注意ください。
- ・12V車両専用です。6V車両や24V車両などには使用しないでください。
- ・取り付けや配線ミスにより発生いたしました破損・不具合等については保証の対象外となります。
- ・H.I. Dキットや社外品のイグニッションコイルなど高電圧ノイズが出る商品と同時に装着しないでください。高電圧ノイズによりデジタル回路に悪影響を及ぼし、最悪の場合には本商品が故障する原因になる恐れがあります。
- ・本商品は完全防水ではなく、防滴構造となっております。通常の雨程度の水濡れ程度では、内部に水が入ることはありませんが、本体を水の中に落したり、水没させたりすると内部に水が浸入してしまいます。もし内部に水が浸入した場合にはただちに使用を止めてください。
- ・皮膚に本商品の両面テープを貼らないでください。
- ・本商品の取り付けには両面テープを使用しますが、両面テープでの完全な密着は不可能ですので、使用している間にはがれが生じる可能性があります。定期的なチェックを行い、走行中にはがれないようご注意ください。また、両面テープの性能を発揮させるため、装着後24時間は走行を控えてください。両面テープが浮いてしまいそうな箇所は、両面テープが密着するようにテープ等で押さえ、24時間後にそのテープを外してください。
- ・取り付けの際に使用する純正部品および車両各部に欠損・損傷が見られた場合はその部品の再使用を避け、新しい部品に交換してください。そのまま使用していると重大な事故等につながる恐れがあります。
- ・取り付け後は走行前に各部に異常がないか毎回点検を行ってください。
- ・本商品の脱落がないように確実に取り付けください。また作業中および使用中についたキズ等については保証の対象外になります。あらかじめご了承ください。
- ・この商品は材料に鉄などを使用していますが、金属製であっても長年ご使用されますと経年変化による劣化が生じます。必ず定期点検を行ってください。経年変化による商品の破損等の不具合については保証の対象外となります。
- ・走行中に異常が発生した場合は直ちに車両を安全な場所へ停車し、異常箇所を点検してください。正常に機能しない場合にはご使用をおやめください。
- ・本商品を取り付けて使用し、本商品以外の部品に不具合が発生しても本商品以外の部品の保証はどのような事柄でも一切負いかねます。（不具合により発生した修理工賃やレッカー代、交通費など）
- ・ケーブル類はエンジンなど高温になる場所に触れないようにして、ビニールテープや結束バンドなどで脱落しないように固定してください。また、このときにハンドルを左右に切ったりなどした際にケーブルに負荷が掛からないようにある程度たるみをもらせるようにしてください。カウル取り付け時には間に挟み込まないように注意してください。

<重要>取り付ける前に必ずお読みください。

HIDキットや社外品のイグニッションコイルなど高電圧ノイズが出る商品と同時に装着しないでください。高電圧ノイズによりデジタル回路に悪影響を及ぼし、メーターの誤表示、最悪の場合には故障の原因になる恐れがあります。そのため、適合は電装系が**全てノーマル車のみ**となっておりますのでご注意ください。**電装系がノーマルではない車両に取り付けした場合、本商品が故障しても保証の対象外となり、一切の保証はできませんので、ご注意ください。**また、本商品は完全防水ではなく、防滴構造となっております。通常の雨程度であれば内部に水が浸入することはありませんが、水中に落としたりして水没させると内部に水が浸入してしまいますのでご注意ください。

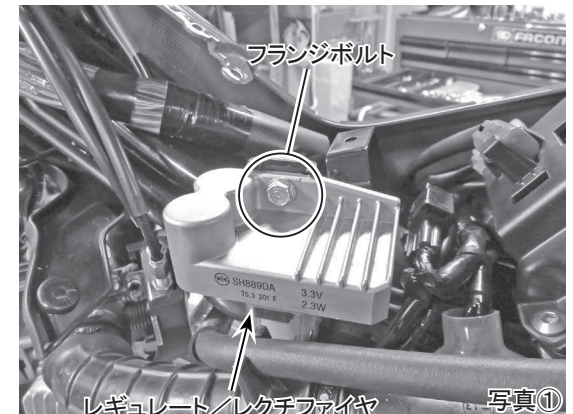
●取り付ける前に

- ・車両に取り付ける前にドライブレコーダーが正常に動作するか、確認をしてお取り付けてください。
- ・バッテリーのマイナス端子を取り外してから作業をしてください。その後、作業が終わってからマイナス端子を元にもどしてください。
- ・本説明書に記載の無い各部のボルト、ナットの取り外し方については、車両のサービスマニュアルを参考にして作業を行ってください。
- ・取り付けを行う前に、きちんと内容物がそろっているか確認してください。
→部品が不足していると思われる場合にはご購入店にご相談ください。
- ・ラゲッジボックス、インナーカバーアウター、R. フロントサイドカバー、フロントメーターパネルなどをあらかじめ取り外してください。これらの取り外しについてはサービスマニュアルをご確認ください。
- ・本書に記載のないドライブレコーダーの使用方法などについては、ドライブレコーダーの説明書をご確認ください。

●取り付けについて

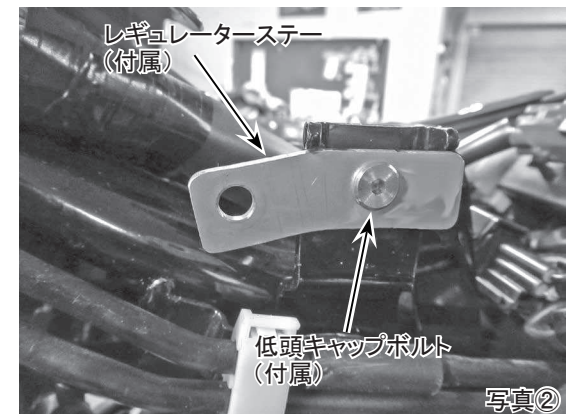
1. 車体にあるレギュレート／レクチファイヤをフランジボルトをゆるめて、いったんフレームから取り外します。（写真①）

※取り外したボルトは再利用します。

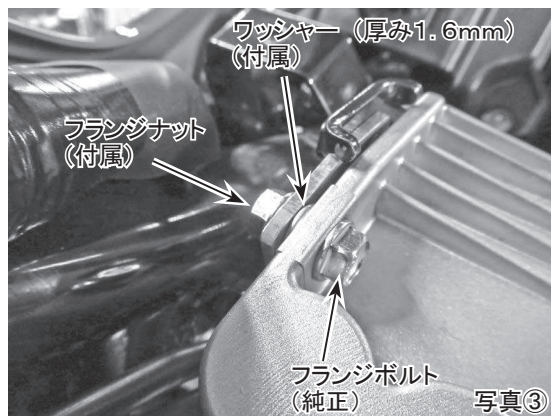


2. 付属のレギュレーターステーをレギュレート／レクチファイヤが取り付けられている部分に付属の低頭キャップボルトを使用して規定トルクで締め付けます。（写真②）

<規定トルク> 12N・m



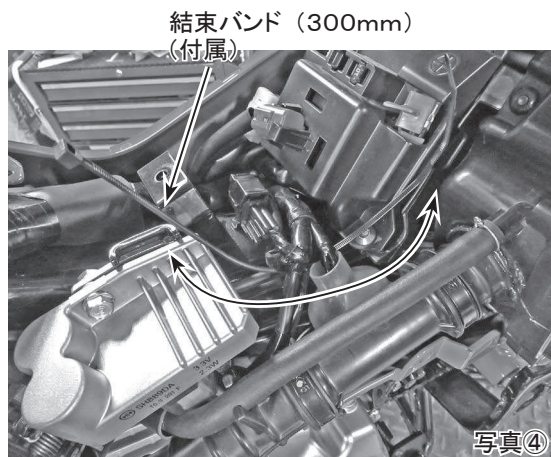
3. 前項2で取り付けしたレギュレーターステーのもう一方の穴に前項1で取り外したレギュレート/レクチファイヤを取り付けます。
このとき、ボルトは取り外したボルトを使用して、間に付属のワッシャー（厚み1.6mm）を挟むようにして付属のフランジナットで固定してください。（写真③）



写真③

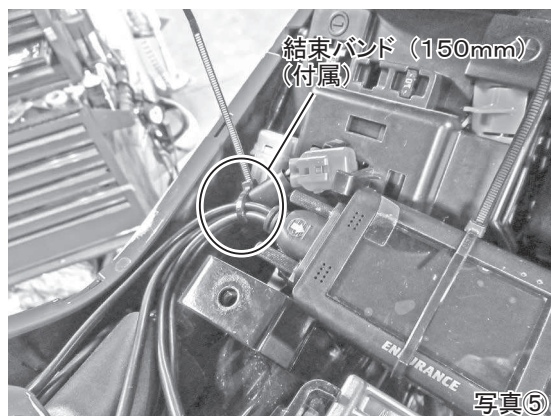
<規定トルク>12N・m

4. 本体を固定するために、付属の結束バンド（300mm）を写真④のように車両のハーネスに通しておきます。



写真④

5. 写真⑤のように本体を固定して、付属の結束バンド（150mm）を使用して接続ケーブルも固定します。

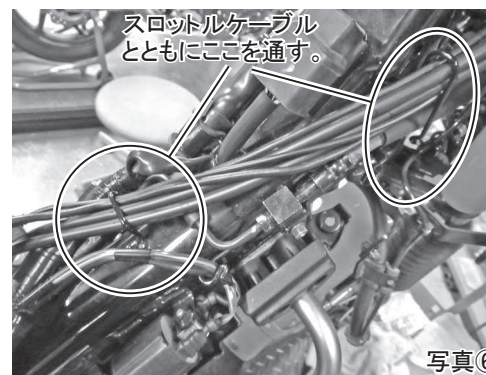


写真⑤

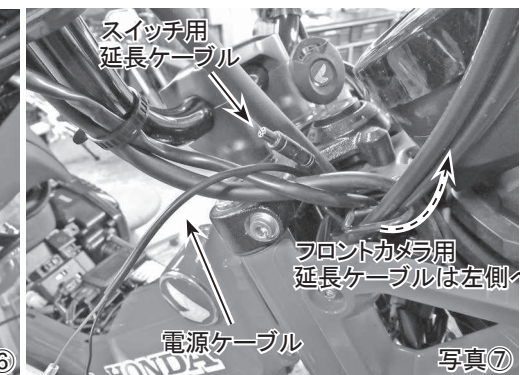
6. それぞれのケーブルを本体接続ケーブルに接続して、フロントカメラ用延長ケーブル（2m）、スイッチ用延長ケーブル（0.8m）、電源ケーブルを車両のスロットルケーブルに沿うように通します。（写真⑥）（※リアカメラ用延長ケーブルの取り回しは後述）

その後、スイッチ用延長ケーブルと電源ケーブルはブレーキホースに沿うようにハンドル側にだしておきます。（写真⑦）

またフロントカメラ用延長ケーブルはヘッドライトの裏側を通して、左側に通しておきます。（写真⑦）

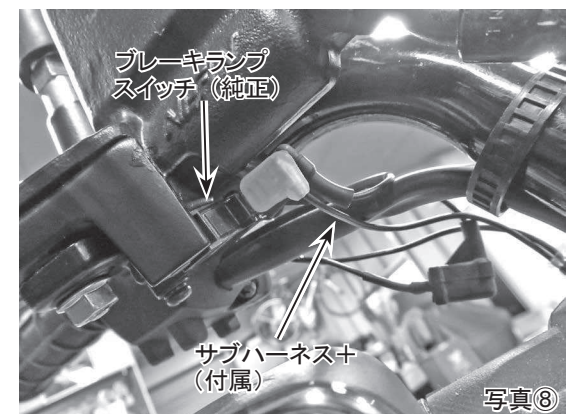


写真⑥



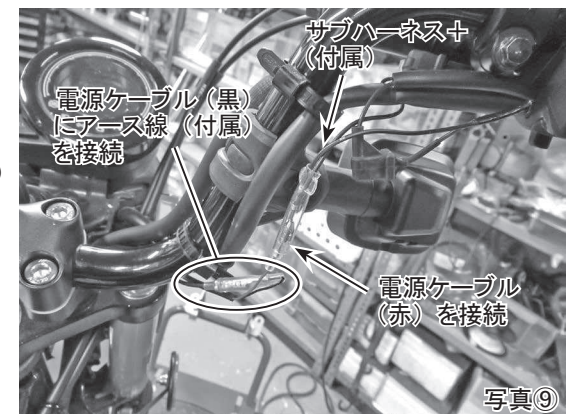
写真⑦

7. 付属のサブハーネス+をFrブレーキランプスイッチに割り込まないように取り付けします。（写真⑧）



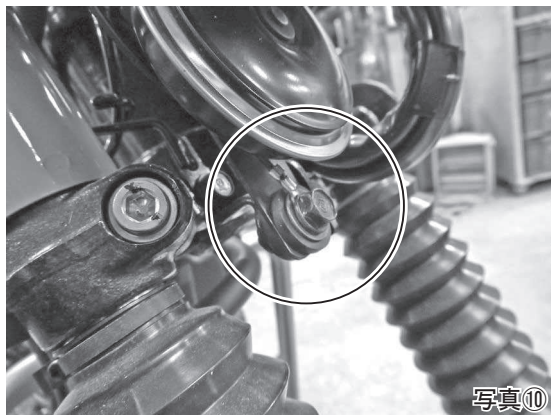
写真⑧

8. 前項で取り付けしたサブハーネス+に電源ケーブルのプラス線（赤）を接続します。（写真⑨）
また、電源ケーブルのマイナス線（黒）には付属のアース線を接続しておきます。

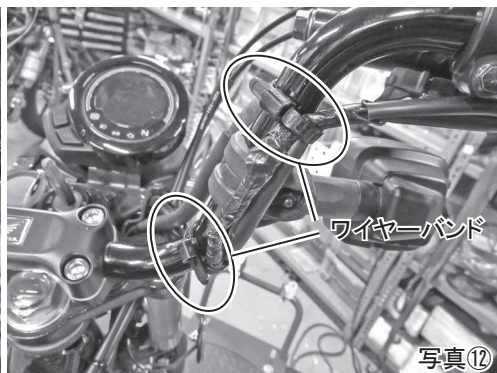
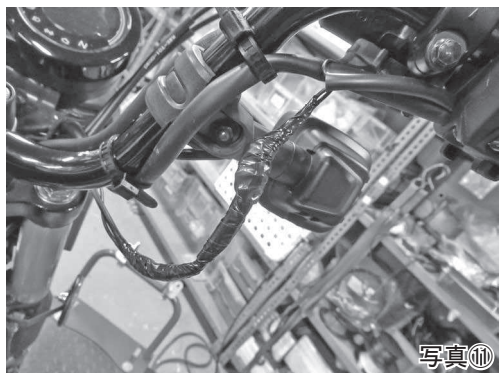


写真⑨

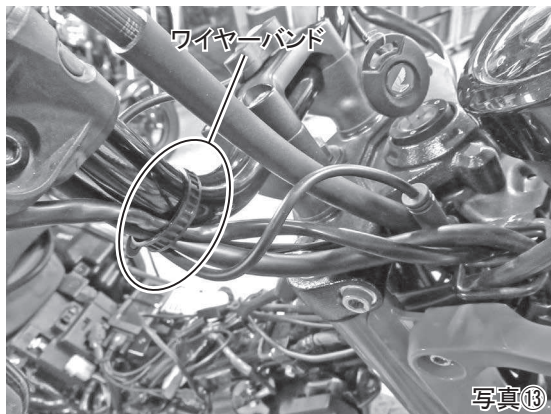
9. 前項で電源ケーブルのマイナス線（黒）に接続したアース線は写真⑩のようにホーンに共締めするようにします。



10. 接続した電源ケーブルのギボシ部を配線テープなどを用いて、防水処理を施します。（写真⑪）その後、ハンドルについているワイヤーバンドで車両のハーネスとともに固定します。（写真⑫）

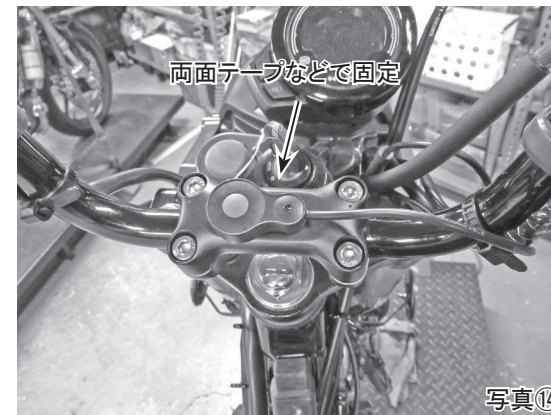


11. 前項6でハンドル付近まで通していたスイッチ用延長ケーブルに手元スイッチを接続します。その後、写真⑬のように配線を取り回して、ワイヤーバンドで固定します。

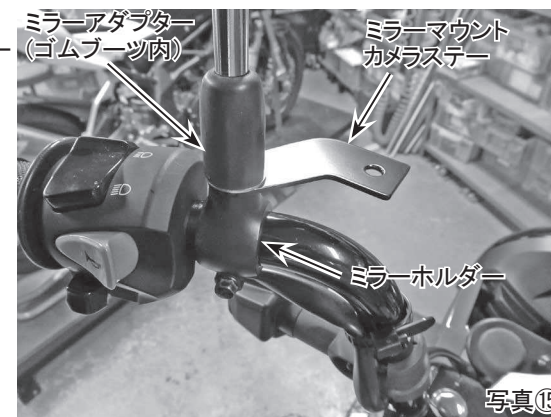


12. 手元スイッチはハンドルホルダーに両面テープなどで固定します。（写真⑭）

※手元スイッチの位置はご自身でお気に入りの位置に変更しても問題ありません。

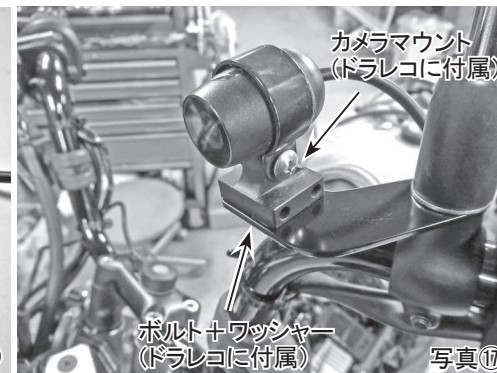
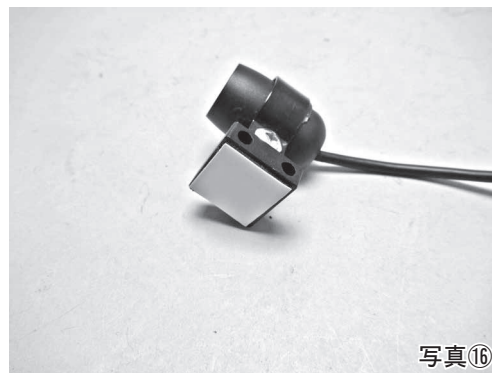


13. 左側ミラーにミラーマウントカメラステー（付属）を取り付けます。（写真⑮）※ミラーホルダーとミラーアダプター（ゴムブーツ内）の間に挟むようにします。

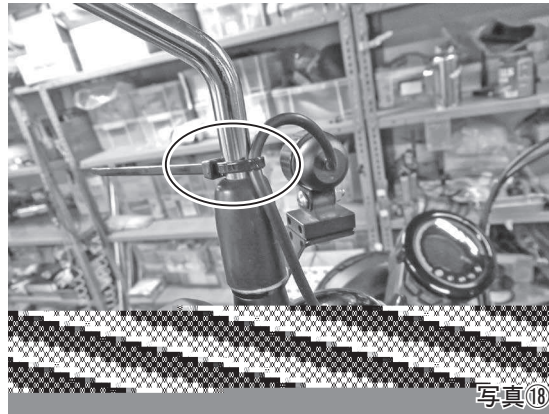


14. ドライブレコーダーに付属のカメラマウントにカメラをセットしてから、ドライブレコーダーに付属のボルト、ワッシャーを使用して、前項で取り付けしたミラーマウントカメラステーにカメラを取り付けます。（写真⑰）

※カメラマウントには一つだけ両面テープが貼ってありますが、剥がしてボルトで固定してください。
※カメラマウント固定用ボルトはかならずドライブレコーダーに付属のボルトを使用してください。（一般的なボルトとは異なったサイズになっております。）

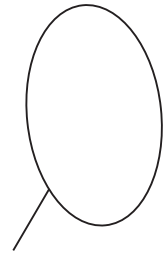


15. 念のため、転落防止用に結束バンド（150mm）でミラーシャフトにカメラの配線を固定しておきます。（写真⑱）



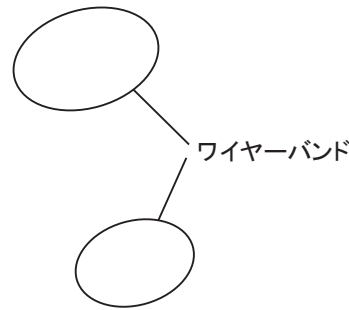
写真⑱

16. 前項6でハンドル左側付近まで通していたカメラ用延長ケーブルとカメラを接続します。（写真⑲）
 接続部は電源ケーブルと同様に配線テープなどで防水処理を施しておきます。
 その後、ハンドルについているワイヤーバンドで車両のハーネスとともに固定します。（写真⑳）



防水処理をします

写真⑲



写真⑳

17. 接続したカメラ用延長ケーブルはそのままと余ってしまうので（写真㉑）、写真㉒のように結束バンド（150mm）でまとめておきます。

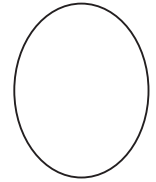
写真㉑

写真㉒

18. 前項でまとめた配線をヘッドライト裏に入れて車両ハーネスに結束バンド（150mm）で固定しておきます。（写真㉓）

写真㉓

19. ヘッドライトブラケットを元に戻して結束バンド（150mm）で車両ハーネスとカメラケーブルを固定しておきます。（写真㉔）

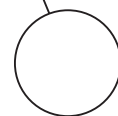


写真㉔

20. いったんナンバープレートを取り外し、リアカメラステー（付属）をナンバープレートとともに共締めします。
 ステーを共締めしないボルト側には付属のワッシャー（厚み3.2mm）を挟んでからナンバープレートと共締めします。（写真㉕）

RRカメラステー

ワッシャー（3.2mm）
を間に挟む



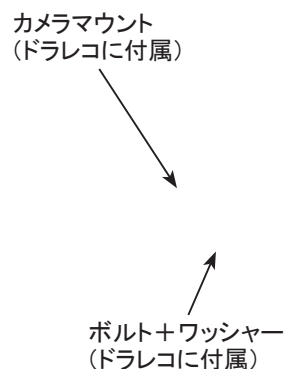
写真㉕

《注意事項》

ナンバープレートを固定する際にそれまで使用しているボルトでは長さが足らなくなる可能性があります。その際には別途ボルトをご用意していただく必要があります。
 適切な長さのボルトで取り付けしないと、ナンバープレートの脱落など事故の原因になります。
 （適切な長さ・・・ナットからネジ部が出ている状態）

21. ドライブレコーダーに付属のカメラマウントにカメラをセットしてから、ドライブレコーダーに付属のボルト、ワッシャーを使用して、前項で取り付けしたステーにカメラを取り付けします。(写真⑳)

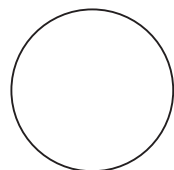
※カメラマウント固定用ボルトはかならずドライブレコーダーに付属のボルトを使用してください。(一般的なボルトとは異なったサイズになっております。)



写真㉔

22. 前項6で本体接続ケーブルと接続したリアカメラ延長ケーブルを写真㉕のようにフレームに沿うようにします。

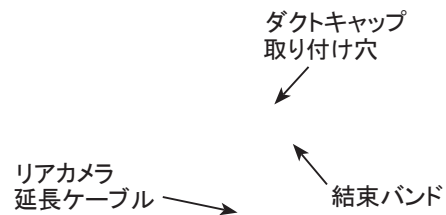
(※カメラに接続後に配線の取り回しが終わったら、付属の結束バンドで固定します。)



写真㉕

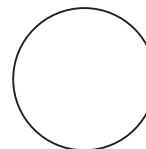
23. 写真㉖、㉗を参考にして、リアカメラ延長ケーブルを取り回していきます。エアクリナーダクトキャップが取り付けられるよう、取り付け穴の奥側で結束バンドで固定しておきます。(写真㉘)

※エアクリナーダクトキャップを取り付け時に配線を挟まないようにご注意ください。

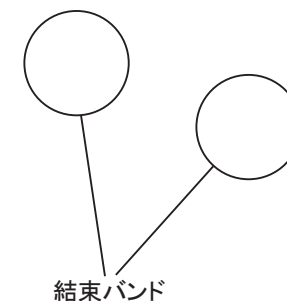


写真㉘

24. 延長ケーブルをリアキャリアの取り付け部の間を通して(写真㉙)、リアカメラの線と接続してその後、キャリアの裏側、ウインカー部を使用して結束バンドで固定しておきます。(写真㉚)



写真㉙



写真㉚

25. それぞれのケーブルで長さが余った部分を車体右側のハーネスに沿わせる形で結束バンドで固定します。

写真㉛

26. 再度、本体の動作確認を行って問題なく動作すれば、カウルなどを元に戻して完成です。

写真㉜

写真㉞

●構成部品について

No.	部品名	QTY	備考
①	ツインカメラドライブレコーダー	1SET	セット内容については本体の説明書でご確認ください。
②	ミラーマウントカメラステー	1	
③	RRカメラステー	1	
④	レギュレーターステー	1	
⑤	低頭キャップボルトM6×15	1	
⑥	サブハーネス+	1	
⑦	アース線	1	
⑧	ワッシャーφ6×φ17×t3.2	1	
⑨	ワッシャーφ6×φ13×t1.6	1	
⑩	フランジナットM6	1	
⑪	結束バンド150mm	10	少し多めに入っています。
⑫	結束バンド300mm	1	

※ドライブレコーダーに付属の電源ケーブルは通常のセットに含まれている電源ケーブルとは異っており、取り付けキット用に加工されているものが付属します。補修などで部品のみを注文する際にはご注意ください。

《注意事項》

- ・単気筒独特のエンジン振動により、カメラステーが一定の回転数のときだけ振動する場合があります。

注意

OL œ` <É#J < íYÃÆ¿<í~)Ð²Á!ä` <ÉÕãÄ-í¥íY²Ù` ‡
 PL ÖãÄ-íœâ\$³ãÙ²°ã† ò¿ É.= l ÉøÜÖç\$îYã¡Æ~Vª»°Y‡
 QL Öã\$²°•&¿< F.= G Ê~Æï' %ÆïrÆÁãÙ'ÉÁ† İµ,%²Áª»°Y‡

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。
 ※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。
 ※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。
 ※本書やWEB上でのイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

有限会社エンデュランス 〒350-0822 埼玉県川越市山田1726 TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625
 endurance-parts.com

2021.12.27